グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」人材育成プログラム平成 24 年 4 月募集について

平成 24 年 4 月 3 日

本拠点の人材育成プログラムは、地球システム科学を牽引する研究者や研究コーディネータに加え、学術・環境分野の行政・教育および一般企業などで、多様なキャリアパスを自ら開拓できる人材の育成を目的とする。具体的には、GCOE-RA や国際学会参加支援などの公募型や国際フィールド科学サマースクール、ラボ実習／モデリング実習などの企画型、客員招聘教員による集中講義・セミナーといったプログラムを用意している。学生は、これらの事業に参加することで 0.5～4 クレジットが取得できる。合計 11 クレジット以上（予定）を修め、自らがまとめた博士論文とともに、国や地域、学術組織に対し、適応策などの実践的な提言をする修了課題を行った博士後期学生には、「統合フィールド環境科学修了書（Diploma of Integrated Field Environmental Science）」が授与される。

今回は、以下の公募型人材育成プログラムを募集する。募集要項、申請書は、GCOE の人材育成に関するホームページ(http://www.ees.hokudai.ac.jp/gcoe/careerup/201204/index.html)に掲載する。

申請の締め切りは、(a)GCOE-RA (平成 24 年 4 月入学 D1 を除く)のみ **4 月 24 日（火）**、その他の申請は **5 月 6 日（日）**。

応募対象：環境科学院 4 専攻および農学院環境資源学専攻に属している博士後期課程学生。環境科学院に参画もしくは農学院環境資源学専攻に主参画している教員(特任教員を含む)、およびこれらを受入先とする若手研究者(博士研究員など)。博士後期課程学生が応募資格となっているものは、旅行、招聘、企画実施の時点で博士後期課程学生であれば応募できる。なお、事業によって応募資格が異なるので注意すること。修士課程学生は、一部のプログラムのみ応募できる。学生や若手研究者は、指導教員や受入教員と相談のうえで応募下さい。

(a) 平成 24 年度次世代研究者育成プログラム(GCOE-RA)

目的：博士後期課程学生が、(1)年度ごとに博士論文の内容や進捗状況を自分自身で見直す機会とすること、(2)一般的となった年次計画や外部資金の獲得のための申請書作成など、研究者として必須の経験を積むこと、および(3)博士論文執筆が円滑に進むよう経済的に支援すること。博士後期課程学生が他の人材育成プログラムも併用して、学会発表や査読付き論文の件数の増加は、グローバル COE プログラムの主要成果の一つとなる。

募集時期：4 月 (10 月入学者を対象に半年間の雇用を 10 月に募集予定)

応募資格：博士後期課程学生（GCOE-RA の雇用は最短修業年限の範囲を超えない期間に限る）

審査基準・支給額：詳細は別紙。

(c) 平成 24 年度国際学会・ワークショップ等参加支援

目的: 海外で行われる学会やワークショップ・会議などに参加することで、国際的な視点で研究するようになり、国際的に活躍する研究者となる第一歩を後押しする。

応募資格: 博士後期課程学生・若手研究者

渡航対象期間: 平成 24 年 6 月～平成 25 年 2 月

不採択となった場合でも、対象期間内の学会であれば次回にも応募は可能。今後は平成 24 年 8 月(対象期間: 平成 24 年 10 月～平成 25 年 2 月)に募集予定。

支給額:支給額は「航空券費用＋日本国内鉄道運賃＋宿泊費実費(1 泊 8000 円)」とする（上限 35 万円）。平成 24 年度は年間計 30 件程度を予定(今回は 15 件程度)。

(d) 平成 24 年度海外交流・海外調査支援

目的: 海外に短期間滞在すること、あるいは、国際的実務機関等で長期インターンシップの経験から、国際的な共同研究や実務的な視点を取り入れた研究が行えるようになり、国際的に活躍する研究者や実務者となる第一歩を後押しする。また、海外におけるフィールド調査で国際的な研究のつながりを促進するものについても支援対象とする。

応募資格: 博士後期課程学生・若手研究者

渡航対象期間: 平成 24 年 6 月～平成 25 年 2 月

不採択となった場合でも、対象期間内の渡航であれば次回にも応募は可能。今後は平成 24 年 8 月(対象期間: 平成 24 年 10 月～平成 25 年 2 月)に募集予定。

審査基準・支給額:研究計画、および支援の必要性を勘案し審査する。滞在期間中の研究計画、およびこれまでの研究成果を総合的に判断して、支援がより適切になるものについて採択する。必要に応じて追加質問をする場合がある。支給額は「航空券費用＋日本国内鉄道費用＋最大 30 泊分の宿泊費 (1 泊平均 8000 円以内の実費または1泊 5000 円定額のいずれか)」とする。平成 24 年度は年間計 15 件程度を予定(今回は 7 件程度)。

(e) 平成 24 年度海外研究者招聘

目的: 博士後期課程学生、若手研究者ならびに教員が海外研究者（博士後期課程学生を含む）を招聘することにより、よりレベルの高い研究や国際研究交流を行うことを支援する。

応募資格: 博士後期課程学生・若手研究者・教員

招聘対象時期:平成 24 年 6 月～平成 25 年 2 月

不採択となった場合でも、対象期間内の招聘であれば次回にも応募は可能。今後は平成 24 年 8 月(対象期間: 平成 24 年 10 月～平成 25 年 2 月)に募集予定。

募集内容・支給額:海外研究者(学生も含む)を招聘する旅費の支援。海外招聘 A(1名が 2 週間～2 ヶ月程度滞在、滞在期間中に講義・セミナーを開催)・海外招聘 B(数名以内が国際ワークショップなどのために滞在。当該ワークショップを GCOE 共催または主催とすること)に分ける。支給額は「航空券費用＋宿泊費(1 泊あたり 12000 円)」を基準とし、120 万円を上限とする。原則として 5 専攻教員・学生向けのセミナーを義務づける。平成 24 年度は年間計 6 件程度を予定

(今回は 4 件程度)。

(g) 平成 24 年度人材育成自由企画

目的: 教員・学生から自由に発想された企画により、人材育成プログラムの目的である地球システム科学(地球科学・生態科学・物質科学など)を牽引する研究者や研究コーディネータに加え、学術、環境分野の行政・教育および一般企業などで多様なキャリアパスを自ら開拓できる人材の育成を行うため。

応募資格: 修士課程および博士後期課程学生・若手研究者・若手教員・教員

対象時期:平成 24 年 6 月頃～平成 25 年 2 月に実施する企画。

募集内容・支給額:他の人材育成プログラムに当てはまらない、人材育成に関わる優れた提案。自由企画 A(教員による企画、1件 150 万円以内)、自由企画 B(学生・若手研究者主体による企画、1件 50 万円以内)。趣旨、企画内容、予算措置などをフリーフォーマット(A4 1～2 ページ)で提案を受付、面接、再提案などを経て採択。採択は若干数。

<u>申し込み・問い合わせ:</u>

北海道大学大学院環境科学院 GCOE プロジェクト支援ユニット

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 5 丁目 (地球環境科学研究院管理棟 2 階 E-201)

人材育成プログラム申し込み専用メールアドレス gcoe-cup@ees.hokudai.ac.jp

問い合わせ・その他一般メールアドレス gcoe@ees.hokudai.ac.jp

電話: 011-706-4861, 4862 FAX:011-706-4867

平成 24 年度 公募型人材育成プログラム		申請者資格						募集時期・実施期間		助成金額	
		修士課程	博士課程	博士課程超過	若手研究者(ポスドク)	若手教員	教授	募集(月)	対象(月)	年間採択件数(予定)	平均助成額(万円/件) *は昨年度平均額
a 次世代研究者育成プログラム(GCOE-RA)		×	◎	×	×	×	×	4	6～12	50	27, 54 または 81
								10	12～N2		13.5
c 国際学会・ワークショップ等参加支援		×	◎	△	○	×	×	4 8	6～N2 10～N2	30	22*
d 海外交流・海外調査支援		×	◎	△	◎	×	×	4 8	6～N2 10～N2	15	29*
e 海外研究者招聘		×	◎	×	◎	◎	○	4 8	6～N2 10～N2	6	23*
g 人材育成自由企画	A	×	×	×	×	◎	◎	4	7～N2	若干数	上限 150
	B	○	◎	×	◎	○	×				上限 50

- GCOE-RA のうち 10 月募集分は、原則として 10 月入学の博士課程1年次のみを対象とする。
- 実施時期の N は来年(例:N2 は、来年の 2 月を意味する)
- 申請者資格 ◎: あり(推奨)、○:あり(採択実績有り)、△:あり(博士号取得を優先して欲しいことから、採択はかなり難しい)、×:資格無し。
- 資格は実施時期の身分で判断される(例えば、実施時点で博士後期課程学生ならば修士 2 年が応募可能。**最短修業年限を超える**博士後期課程学生でも、博士号取得を条件に採択されている)。
- 若手教員とは 30 代の教員を指すが、選考にあたって職位を考慮される場合もある。